

## 解答

- 問1 江戸は武蔵国と下総国を結ぶ交通の要地で、各地へ通じる河川を利用すれば物流・軍事拠点とできたから。
- 問2 浦賀
- 問3 大きい船 各地から海を通過して大量の物資を東京湾まで運ぶ役割。  
小さい船 大きな船の物資を積みかえ、河川や運河を利用して消費地に運ぶ役割。
- 問4 年貢米を大阪や江戸で現金にかえ、藩の財政にあてる必要があったから。
- 問5 荷物を運ぶのが人より遅いが、より多くの荷物を一度に運ぶことができること。
- 問6 ウ
- 問7 「下層の人びと」とみなされていた運輸労働者は、安い賃金でも働かせることができた点。
- 問8 (あ) ・納品の日時などが細かく設定され、それを守ることが厳しく求められるなど、情報通信技術の進歩や情報端末の普及によって提供するサービスがより細かくなっていること。  
・インターネットを利用した通信販売の増加にともない、運輸労働者が扱う荷物の輸送量が増加していること。 など
- (い) 働く時間が増えることで残業代が支給されるなど、収入が増えるから。
- (う) 運輸を利用する側の便利さのみを追求すると、運輸労働者の健康や生活の質が損なわれる。

上記の解答は、弊社が作成致しました。